

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



第六驅逐 温泉欲場



第六驅逐

温泉欲場





そろそろ足が限界だ...
そこで疲れを
取りましょう

あれ?
あそこについての間に
浴場が建てられてる?



またこんなに
遅くなるなんて

今日の仕事は
大変だな



お邪魔
しますー

あ!
お客さんだ!



いらっしやいませ



カワイイー

コロコン

おオオオー!
第六駆逐隊だ!



皆さん
初めてだよね

じゃ紹介させてもらおうわ
ここは私たちの司令官と
駆逐隊たちが一緒に
経営してる浴場だよ



奥へどうぞ



あ…はい

司令官三名様
だよな？



もしご希望であれば
私たちも一緒に入っても
大丈夫なのです

え!?



私たちが司令官たちを
もてなすわ
必要があれば
遠慮なく言ってね



司令官たちが
仕事終わった後
疲れが取れるように

日頃お世話になっている
司令官たちに感謝するために、
私たちが船渠を司令官専用の
浴場に改築した。



クス

夜戦の
特訓って？

司令官たちに
奉仕するためなのです

それはいいですから！
早く入るのです！

ああ!?!
おお…



私たちが毎晩夜戦の特訓を
受けているのは…

バシヤバシヤ

何か特別なところがあると思っただのにな

しかし従業員たちは本当に可愛い

彼女たちを呼んで一緒に入ってもらおうかな？

先のは言ってみただけだろ

あ…あの…



ん？

サッ

サッ

お湯加減はどうですか？

他に何か手伝える事がありますか？



もう…司令官と一緒に入りたいたっておしやっただじゃないですか

あ…あれは…



ええ!? 電ちゃん?

何故ここに?





司令官どうした
のです？
顔色がちよっと
悪いのですね

え？
そう？



ご存知ですか？
司令官たちがいらしゃって
電は嬉しいのです。
ずっと待っていたのです

くっつき過ぎっ！



では
せつかくですし
電にご奉仕させて
いただきますね

ご奉仕？
おいちよ…
何するつもり？



気持ちいい
のですか？

ああ…やめろ！
このままじゃ…

すり
すり
すり



こんなに大きく
なったのですね

そこ…
勝手に触ちゃ…



それでは電に
手伝わせていただき
ますね…

すり
すり
すり



うおおおおお!!

ズツズツ

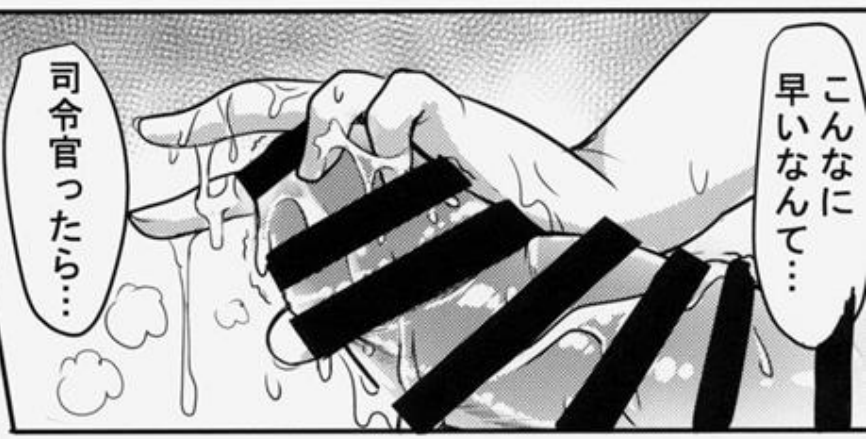
もう...限界...



その司令官たち

ご奉仕ってこれかよ...

おいおい...
この浴場は一体
どういう...



司令官ったら...

こんなに
早いなんて...



しかもこんなに
いっぱい出して...



ご奉仕は
いかがですかー？



では皆さん、
上がってくださいね

パツパツ



でも一回ぐらいなら...
大丈夫だよな

じゃ...
じゃお願いします

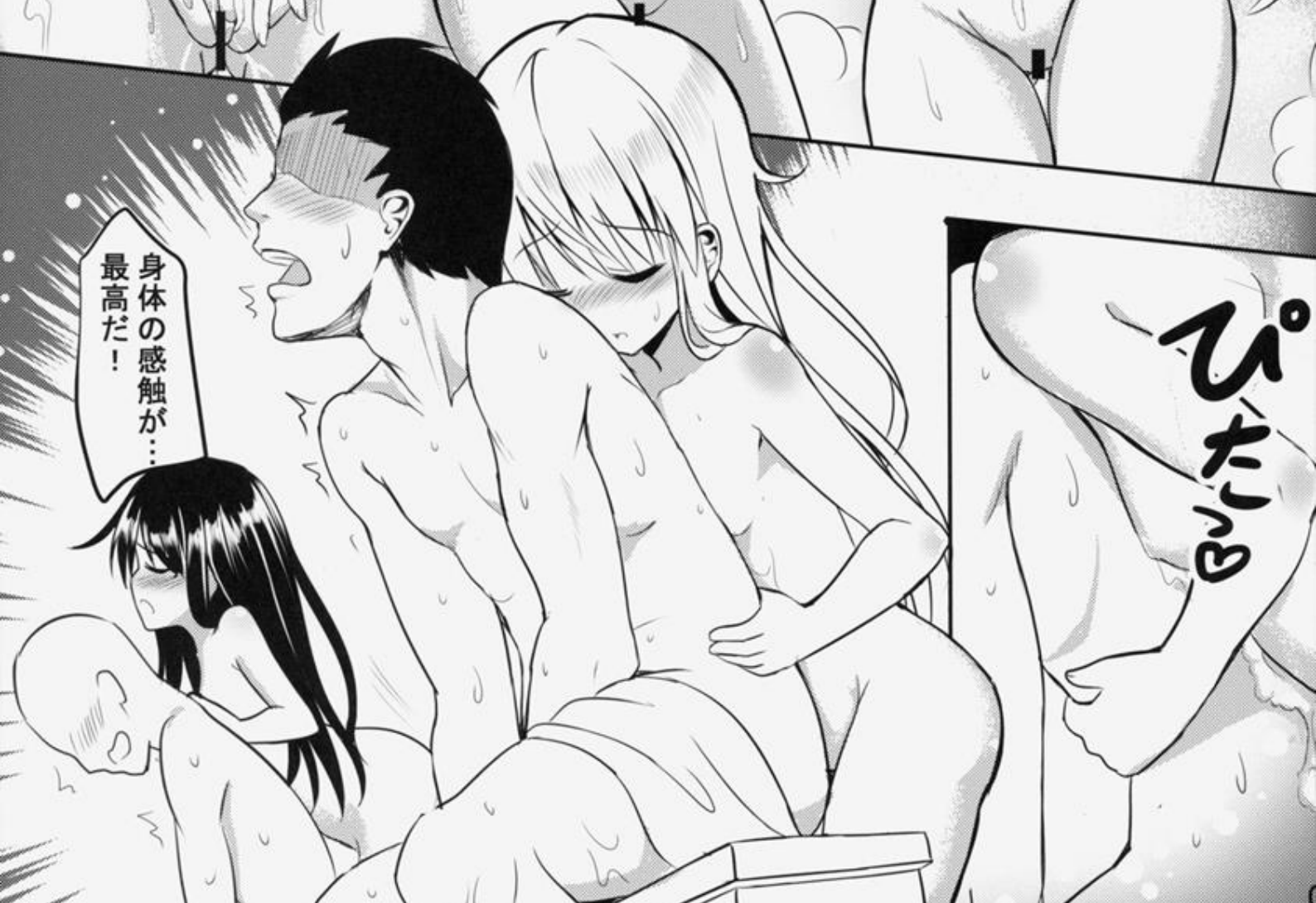
どうする...?
どう断われれば...
いい...



うは

びびび

びびび



身体の感触が…
最高だ！

びびび



大丈夫なのです…
司令官が気持ち
よくなれるなら
何でもするのです

そう言われても…

ああ…
お口に入った

うっ…

雷ちゃん…
俺はもう…
出したいんだけど

我慢してるからね…

いい匂い

司令官…んむっ…
ダメよ

私が満足…
するまで
出しちゃダメよ…
んむっ







んは♡

んは♡

グビョッ
グビョッ

んは♡

ぐびょ
ぐびょ

ぐびょ
ぐびょ

出しちゃダメって
言ったのに...



すまん…
つい出ちゃった

大丈夫
なのです

司令官たちいつも
仕事が大変なのに
私たちにできることは
これしかないのです

ですから遠慮無く
私たちの身体で
ストレスを発散して



おまえ
たち…

よし！
これからは俺が
ご奉仕してやる

あれ？
司令官そこは…



入れるよ…

司令官…
そこはダメ
なのです…

入った!!



ああっ!
イクっ!

まさか飲み込んだ!?
美味しかったかい?

でも彼女たちは
もう我慢できない
みたいだな

後ろもすげー
気持ちいい
おまえも試してみる?

仕方ないね

う...

あーあー!

いや

あーあー!

あーあー!

あーあー!

あーあー!

パッパッ

ドク

あーあー!

あーあー!

あーあー!

あーあー!

暁はどう？
提督すこいだろう？

はぁ♡
いっ…痛い…

ちよっと…
何してるのよ！

響はいい子だね…
自発的に隊長に
奉仕するなんて

がはがは

がはがは

ピロ

もう舐め…
ないで

こっちも同じだ…
そろそろイクよ…

提督も負けねえぞ

がん

がん
がん

ああ…
提督はもう
出そうだ

じぽ

司令官…私のなかに…
精液をいっぱい
注ぎ込んできて…

じぽ

あ♡

じぽ

あ♡

電ちゃん
俺中に出したい

司令官…

じぽ

ずん
ずん
ずん

もうイク

司令官…

ん



びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



あ
あ

びしょ

びしょ

びしょ



これこそ浴場だぜ

今日いっぱい出したな

ここは本当に最高だったな

はっ

あ

はっ

あ

はっ

あ



当然だ!

私たちがご奉仕は
いかがでしたか?
明日もまた
来てくださいね

司令官...



END

じゃまた明日ね

...



あとがき

皆さんこんにちは、ミルクセーキです。
この本を手にとって下さって、ありがとうございます。

今回は初めてコミケで個人名義として本を出しましたので、すごく緊張しました。
ここでAfongさんが本を委託させていただくことを感謝します。
自分の申し込みは落ちました…OTZ

今回の本は艦隊これくしょんの第六駆逐隊本です。
この四人は全部僕の嫁とも言えますね。
四人のことが大好きなので、この一冊で全員を描きました。結構大変でした…
しかし仕上げた後、とても爽快でした！
次は駆逐艦たちのごちゃませ本みたいなものを描きたいですが、できるかな????…
そして最後に皆様に楽しんでいただければ幸いです。

艦これFanBook

発行日:2014.08

サークル:ミルクセーキ工房

作家:ミルクセーキ

E-mail:red_0220@yahoo.com.tw

印刷会社:栄光印刷

サークルサイト:<http://blog.yam.com/redcomic0220>

Pixiv ID:569672



ミルクセーキ工房